

親子の相互作用を促すことで養育者の発達を期待した 地域親子支援グループ（集まれAキッズ）の開催

事業責任者： 榊原信子（子どものこころの発達研究センター 学術研究員 臨床心理士
連合大学院 小児発達学研究科 博士課程3年）

概 要
親子の相互作用がポジティブなかかわりになるよう働きかけ、養育者が育児を肯定的にとらえることを目指した「親子遊び教室（集まれAキッズ）」は、今年度で4年目となった。令和2年度はCOVID-19感染予防による集団開催の中止と空調工事があり、集団開催は年8回に留まった。集団開催時には密を避け、3歳児以下と4~5歳児で参加親子を分けて隔月開催。代わりに心理士による電話相談、個別相談の機会を多く設けた。子どもの行動を養育者が理解しやすく半構造化し、スタッフがロールモデル、コーチング、フィードバック等で支援する親子遊び「プログラム」は、永平寺町内10幼児園の園長と共に子育て支援課職員、保健センター保健師、福祉保健課職員と共有され、「保育カウンセラー配置事業」とともに、就学後の相談事業への連携体制を強化するに至った。令和3年度からは未就学児の「発達個別相談」の心理士予算に加え、同日午後からの「就学個別相談」に対する予算が同町にて拡充され、「子育て世代包括支援センター」設置とともに、妊娠期から子育て期（約18歳）にわたる切れ目ない支援の一角を担う事業として発展し、定着しつつある。
関連キーワード
半構造化親子遊び、養育者支援、支援者研修、子育て世代包括支援センター

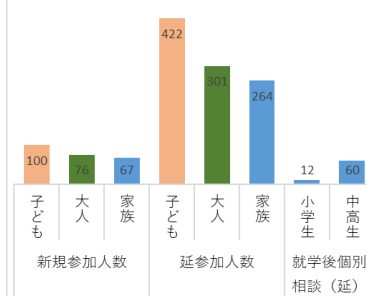
事業の背景および目的

子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門は、2012年8月から永平寺町保健センター協力のもと、出生時~5歳までの乳幼児とその養育者の発達追跡研究「Aキッズ調査」を行ってきたが、令和3年度をもって終了予定である。本事業は、調査協力養育者への個別フィードバックと協力自治体(永平寺町)への成果還元を兼ねて開発した「プログラム」であり、子どもの社会性発達を促し、養育者自身が育児を肯定的にとらえることを期待し、福井大学主導で始めた。最終目標は、①主催する担当部署を決定、②現場に合わせた「プログラム」を検討、③運営リーダー及び関係機関の人材育成、④子育てニーズを把握して運営費を同町で予算化するの4点とし、「Aキッズ調査」が終了後も、町が独自で本事業を運営し、子ども達が就学した後、子育て困難に遭遇した養育者が「自ら援助希求できる・援助希求しやすい地域」となることを目指した。

事業の内容および成果

- 募集方法：1歳半・3歳児健診、5歳の歯科相談等の母子保健活動、幼児園の生活などで、子どもの発達が気になる、養育者が子どものかかわりに困っていると感じられた際に、開催場所及び予定日等が入った別添チラシを配布し案内（当日の事業運営計画：別添）
スタッフ：《永平寺町》松岡保健センター保健師（1名）子育て支援課保育師（1名）福祉保健課保健師（1名）幼児園園長（交替で1名）《福井大学》派遣心理士（2名）
就学後の相談は子育て支援課等への相談から適宜案内
- 成果：①令和2年6月~の子育て世代包括支援センター設置に伴い、松岡保健センターと子育て支援課が共催する本事業は、その一角を担うものとなった。②「集まれAキッズ」の参加児が就学を迎え、親子遊び「プログラム」を通して得られた親の援助希求ニーズにより、切れ目ない支援に向けた「就学個別相談」の場を拡充した。

集まれAキッズ参加状況
(2017年10月~2021年3月)
就学後相談 (2019年4月~2021年3月)



- ③令和元年6月~「集まれAキッズ」の活動リーダーを子育て支援課保育師が担い、町内10幼児園の園長も交替参加する体制が定着し、幼児園が本事業を活用する連携体制が整ってきた。④未就学児の「発達個別相談」の嘱託心理士予算に加え、同日午後開催の「就学後個別相談」にも、令和3年度~嘱託心理士予算が計上され事業化したため、校長会等で子育て相談の場の一つとして周知するに至った。
- 考察：発達追跡研究「Aキッズ調査」に協力同意を得ている377名のうち、就学児108名に対し、児童発達や養育認知の他に、「集まれAキッズ」「発達相談」の認知度などについて質問紙を送付し、52名から回答を得た（回収率48%）。「集まれAキッズ」の利用は4名（8%）だったが、31名（60%）が存在を知っていた。一方「発達相談」の利用は2名（4%）で、子育て相談の場である認識は17名（33%）であった。調査最終の令和3年度は就学個別相談が同町にて事業化され、学校現場に直接周知していく機会を得たことから、他の質問紙と共に新1~2年生216名に同様の調査を行い、周知と共に定着状況等を確認し、切れ目ない支援の一助としていく。

参考文献・添付資料および特記事項等

- 1.「集まれAキッズ」チラシ 2.当日の事業運営計画

事業名称:親子の相互作用を促すことで養育者の発達を期待した地域親子支援グループ(集まれAキッズ)の開催

事業責任者: 榊原信子(子どものこころの発達研究センター 学術研究員/連合大学院小児発達学研究科 博士課程3年)

家庭

松岡保健センター
母子手帳
育児相談
乳幼児健診
歯科健診など

保育園

巡回相談

子育て支援課

要保護連携会議
など

教育

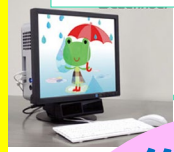
小・中学校
スクール
カウンセラー
教育相談
など

福祉保健課
児童
発達支援
放課後等
デイ
サービス
など

子育て世代包括支援センター
子育て支援課(連携)保健センター

- 〈成果〉**
- ・半構造化親子遊び「プログラム」の提供
 - ・「子育て世代包括支援センターの一助となる「発達相談」「就学後相談」の拡充・多機関連携強化
 - ・幼稚園園長参加による人材育成研修機能

Aキッズ調査377名参加
(2012年~2021年)



福井大学
福井大学
子どものこころの
発達研究センター

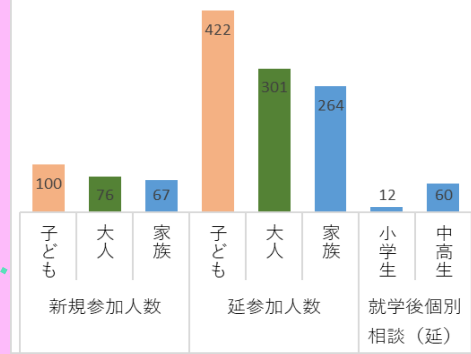
個別フィードバック

集まれAキッズ

親子遊び教室
-毎月第4土曜
9時半~10時半-
発達相談11時半
《福井大学》
心理士
《永平寺町》
保健センター・
子育て支援課・
福祉保健課・
幼稚園園長
(交替)

就学後個別相談
(小・中・高校年齢)
13時~17時

集まれAキッズ参加状況
(2017年10月~2021年3月)
就学後相談(2019年4月~2021年3月)



子どものこころ診療部

**地域医療・
関連機関**
など

子どものこころ診療部

